

衆議院財務金融委員会ニュース

H30.5.29 第196回国会第14号

5月29日（火）、第14回の委員会が開かれました。

1 財政及び金融に関する件

- ・麻生財務大臣兼金融担当大臣、政府参考人及び会計検査院当局に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

川内博史君（立憲）

- ・学校法人森友学園への国有地売却に係る調査報告書を出すに当たり、そのタイトルに書換えてではなく、改ざん等の言葉の使用を検討するよう指示するべきと考えるが、大臣の見解を伺いたい。
- ・平成29年9月7日に学校法人森友学園への国有地売却事案に関する国土交通省航空局長と財務省理財局長との意見交換が行われ、会計検査院に対し、値引きについては金額ではなく地下埋設物のごみの量で報告書を書くよう要請する旨の話し合いが行われた事実はあるのか。また、財務省は実際に会計検査院に対してその要請をしたのか。
- ・平成30年5月23日に公開された森友学園等との交渉記録において、平成28年5月19日に当時の池田統括国有財産管理官が、籠池氏に対して、国有地の売買に関し価格折衝を行いたいと考えている旨の発言をしていることが記されているが、財務省はいわゆる価格交渉があったと認めるか。

今井雅人君（国民）

- ・5月31日から7か国財務大臣・中央銀行総裁会議（G7）が行われるが、G7各国で課題となっているテーマについて伺いたい。
- ・学校法人森友学園への国有地売却事案について、森友学園側との交渉記録の破棄を指示したことが発覚した時点及び指示が行われた時点をそれぞれ伺いたい。
- ・学校法人森友学園への国有地売却事案に係る地中の埋設物層の範囲や深さの推定については、交渉記録（平成28年4月5日）に記載された工事業者の発言内容と工事業者から提出された資料との間で整合性がとれていないと思われるが、資料の提出が行われたときの経緯を伺いたい。

野田佳彦君（無会）

- ・財務省が行った決裁文書の改ざんや書類の廃棄は、立法府と行政の信頼を失わせ、議会制民主主義を踏みにじり、国民を欺く大罪であると思う。財務省のトップとして、大臣は今どのような認識を持っているのか伺いたい。

- ・決裁文書等の記録を見ると、安倍昭恵内閣総理大臣夫人の名前が随所で記載されている。この影響を大臣はどのように見ているのか伺いたい。
- ・調査報告書をつくり、それを踏まえて関係者を厳しく処分した後において、大臣は政治家としての結果責任を果たす段階からとる局面に入らと思うが、これについて大臣の見解を伺いたい。

宮本徹君（共産）

- ・学校法人森友学園への国有地売却事案に関する国土交通省航空局長と財務省理財局長との意見交換（平成29年9月7日）は、会計検査院による検査結果の報告内容を変更させようとする意図があったのではないかと。
- ・本年3月に財務省から提出された平成29年2月13日の財務省側と森友学園側との応接記録は、独自に入手したものと内容が異なっている。決裁文書のみではなく交渉記録も改ざんされているのではないかと。
- ・地下埋設物撤去費用に関する財務省側と森友学園側との協議（平成28年3月30日）内容が録音された音声データと財務省が示した交渉記録とは異なっている。同日に2回協議が行われたとの報道もあり、音声データに該当する交渉記録を隠蔽しているのではないかと。

串田誠一君（維新）

- ・仮想通貨への投資は、売買や債権譲渡に当たるのかどうか法律上の位置づけを確認したい。
- ・株式投資の場合には金融商品取引法によって投資家の保護が図られているが、仮想通貨に係る投資家保護に関する法整備の予定はどうなっているのか。
- ・現在保護主義が非常に強まり、また地政的なリスクを踏まえると、次回のG7ではどのような課題が考えられ、どのようなスタンスで臨まれるのか大臣に伺いたい。